

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー月信

July
2024

7

Vol.1



2024-2025年度 第2540地区 スローガン

『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』

ロータリー特別月間 7月 | 母子の健康月間

2024-25年度 ガバナー
佐藤 和志

2024-25年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック





ガバナー
国際ロータリー第2540地区
2024-2025年度ガバナー

さとう かずし

佐藤 和志

【略歴】

- 生 年 月 日 1947年（昭和22年）4月7日生
- 勤 務 先 有限会社秘湯鶴の湯温泉 代表取締役会長
- 勤務先住所 〒014-1204
秋田県仙北市田沢湖田沢字先達沢国有林59
TEL 0187-46-2139 FAX 0187-46-2761
- 勤務先URL <http://www.tsurunoyu.com>
- そ の 他 秋田県文化功労章受章
田沢湖・角館観光連盟名誉会長
国土交通省観光庁「観光カリスマ」として選定される
日本旅館協会 秋田支部会長
日本温泉文化を守る会会長
日本温泉協会 秋田支部会長
日本山岳会 秋田支部会長

【ロータリークラブ略歴】

- ・田沢湖ロータリークラブ所属
- ・入会 1999年3月1日
- ◎2008-2009 田沢湖ロータリークラブ会長
- ◎2019-2020 田沢湖ロータリークラブ会長
- ◎2022-2023 南区（大曲仙北分区）ガバナー補佐
- 2024-2025 地区ガバナー
- ・ロータリー財団 ポールハリス・フェロー6回

〈2024-2025年度 第2540地区 スローガン〉

小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう

現代は紛争や災害、変化の激しい時代であり、この時代を乗り切るためには今まで通りのやり方や考え方では通用しません。失敗を恐れず何事にも挑戦する気概を持ち、改革をしつつ、小さな奉仕から実行しようではありませんか。

研修のやり方や地区の在り方、親睦の行事これまでの社会奉仕の事業など前例踏襲ほど居心地の良いものではありません。しかし、これからの時代このままで良いという保証はどこにもありません。変えるなら今です。頭を切り替え、クラブの棚卸をしてみましょう。見直すべき事柄がありませんか。小さな奉仕の積み重ねが、希望のある未来へとつながってくれます。

あなたが変われば、周りが変わります。変革なくして進歩なし。

『千里の道も一歩から』

まずは、小さな奉仕から実行してみましょう。小さな奉仕がマジックを起こすのは、あなたであり私たちなのですから。

「小さな奉仕の積み重ねで、希望の未来へ前進しよう」

2024～2025年度 ガバナー 佐藤 和志

いよいよ2024～2025年度が始まりました。当地区2540地区の各クラブの会長、幹事さん、役員の皆様そして会員の皆様はどんな気持ちで新年度を迎えられたでしょうか。

私も、ガバナーエレクトとして国際協議会から会長エレクト研修、地区協議会と皆さんと共に研鑽を積んで参りました。大丈夫と思っていても、いざスタートラインに立ってみますと、期待ともに今当地区が抱えている『会員維持と増強』を思いますと、不安で一杯です。

会員数1200名の壁は高く、険しいと改めて感じているところです。しかし、この難題に取り組むテーマを与えられ、逆に闘志を燃やし、よしやろうじゃないか、という思いが湧いてきました。

今年度の私のテーマは『小さな奉仕の積み重ねで、希望の未来へ前進しよう』としました。会員増強は一朝一夕で出来るものではありません。まず、各クラブ前期1名の純増、更に後期に1名の純増を達成することで私の年度の目標会員数をクリアできます。それにはDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)の原則を取り入れ、勧誘をお願いします。会員お一人お一人が真に居心地の良い帰属意識の持てるクラブをめざすことで、必ずや会員増に繋がると思っています。ロータリーの喜びは、多くの人との交流でこそ得られると思えます。

小さな奉仕が大きな成果につなげるには、会員皆さんの本気度が必要です。どうか私と一緒に『ロータリーのマジック』を実現しましょう。そして、私の年度でどうしても実施をしたいイベントがあります。それは『ポリオ根絶キャンペーン』を地区として実施したいと考えています。

各クラブや委員会等でこれまでも地区大会やことあるごとにポリオについて広報し、ご寄付を頂き、多大なる貢献をして参りました。そこで今年度は地区の行事として地区を上げてポリオ根絶のキャンペーンを秋田市にて開催したいと思っています。今少しでエンドポリオに近づいています。国際ロータリーの長年の取り組みを、秋田で多くの人達に広報し、広く知って頂くことで、少しでもロータリークラブの活動をPRできればと期待をしています。これには2540地区全クラブのご支援と協力をお願い致します。

まもなく各クラブへの公式訪問が始まります。各クラブの現状とクラブの計画についての話し合いを楽しみにしています。どうか今年度一年宜しくをお願いします。

PRESIDENT'S MESSAGE



2024-25年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(米国ペンシルベニア州のマクマリー R C 所属)

より大きなビジョンに向けて

ロータリーが本領を発揮できるのは、クラブでインクルージョンと帰属意識が育まれたときです。実際、帰属意識こそが「ロータリーのマジック」そのものだと言っても過言ではありません。インクルージョンと帰属意識に焦点を当てれば、共通の目的のために人々は結束しやすくなります。互いに支え合い、目標に集中すれば、私たちの力は最大限に発揮されます。これを後押しするのが、ロータリーの行動計画です。行動計画とは、過去の結果を精査し、クラブの強みと弱みを評価し、新たな課題に取り組むためのツールです。

変わりゆく世界の中で、クラブがじっと立ち止まっている余裕はありません。とはいえ、私たちが取り入れる変化は、より大きなビジョンに向けて支え合うような、戦略的に一貫したものである必要があります。行動計画は、このビジョンに向け、クラブ内で効果的な変化を生み出すのに役立ちます。行動計画に沿って地域社会のニーズに取り組むことで、全てのロータリー会員に、それぞれのクラブへの帰属意識が末永く育まれることでしょう。だからこそ、DEi（多様性、公平さ、インクルージョン）へのコミットメントを広げることが重要です。互いの幸せを支え合うことは、参加者の基盤を広げる第一歩であり、この困難な時代に積極的平和を広げることが可能とします。

平和の構築は私たちの最優先事項の一つです。そのための効果的な方法の一つに、ロータリー平和フェロシップがあります。平和フェロシップは世界有数の大学にあるロータリー平和センターで紛争を予防し、終結させる方法を学び、これまでに1,800人以上が卒業してきました。また、オットー&フラン・ウォルター財団からの1,550万ドルのご寄付のおかげで、トルコ・イスタンブールのパーチェシェヒル大学に新設された平和センターで、さらに多くの地域の平和構築者を支援できます。

新たなセンターの開設を記念して、イスタンブールのセンターでロータリー会長主催平和会議を開催します。2025年2月20～22日に開かれるこの3日間の会議では、ロータリーファミリーが平和構築を推進するさまざまな方法に焦点を当てます。現在、この会議への登録を受け付けています。ご参加いただけることを願っています。このロータリー会長主催平和会議は、ロータリーの平和構築の取り組みにとって大きな可能性を秘めていますが、この可能性は皆さんのご支援があってこそ実現します。

私たちは、魔法のつえを振って呪文を唱えるだけで世界に平和をもたらしたり、ポリオを根絶したり、会員を増やしたりするわけではありません。全ては皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジックを生み出すのです。

私はロータリーファミリーを愛しています。そしてそれは皆さんも同じだと思います。だからこそ、共に全てのクラブと地区を魅力的にすることができると、私は信じています。今年度、「ロータリーのマジック」で世界を変えていきましょう。

action plan
学ぼう→



登録は
こちら→



2024 ～ 2025年度地区目標と方策

1. 会員増強と維持

- ・年間会員 2 名の純増を確実に達成する。
- ・地域社会の実像に沿った会員基盤を築くため、会員の職業分類を調査する。
- ・諸団体のメンバーと話し合いを持つ。（未来の会員候補者への働きかけ）
- ・共通の目的を持った人々と目的を達成するために、多様性を受け入れ典型的な会員とは異なるタイプの人たちと連携し仲間を増やす。
- ・例会以外の地区行事・奉仕活動・親睦活動に積極的に参加する。
- ・会員増強と退会防止の為、クラブ細則の見直しを実施する。

2. 公共イメージ向上を図ります

- ・地区・クラブ単位で公共イメージ向上を図り、地域全体への波及効果を高めます。
- ・2024 年 10 月 26 日（土）地区一丸となりポリオデーを開催し、全世界に活動を発信します。

3. 新しい形態のクラブ設立の可能性を推奨する

- ・これまでの会員属性とは異なる会員（女性・会社員・公務員・退職者・議員等）を増やすために、衛星クラブ、分野特化型クラブ等、新しい形態のクラブ設立の可能性を推奨します。
- ・ローターアクトクラブ（RAC）の設立を推進します。

4. クラブ現状評価を全クラブが実施する

- ・クラブの基盤強化のために、各クラブが「クラブ戦略立案ガイド」に沿って、「クラブの健康診断」・「会員満足度調査」などを毎年定期的に行うことを推奨します。

5. ロータリー財団寄付の年次目標を達成する

- ・2024-2025 年度はロータリー財団年次基金 1 人 150 ドル、ポリオ 30 ドルを目指します。
- ・2024 年 10 月 26 日（土）地区一丸となりポリオデーを実施します。

6. 米山記念奨学会

- ・2024-2025 年度は 1 人¥14,000 以上の寄付を目指します。
- ・学生へのサポートを万全にします。
- ・地区行事の参加を促すと共にスピーチを奨励し、各クラブや会員との交流を深めます。

2024-25年度ガバナー補佐 活動計画書



北区(大館・鹿角分区)
ガバナー補佐 大館中央RC

西村 政幸

- ・ 四半期に一度を目途に担当クラブを訪問する。
- ・ 担当クラブとの日程調整や協議内容の事前確認を行う。
- ・ 現補佐との日程調整が可能であれば同行訪問して勉強する。
- ・ 就任までの研修で疑問点を整理し無駄のない活動に備える。



北区(能代・男鹿分区)
ガバナー補佐 ニツ井 RC

境 一孝

具体的な活動計画書

1. 佐藤Gと情報を共有し、各クラブの円滑な活動に心がけ、退会防止と会員増強に舵を取るように話をしたい。【毎日が退会防止で在り、毎日が会員増強であることを話しする。】
2. 佐藤Gの地区方針をつたえる。
3. 各クラブに全ての会員を大切にすることを話し、仲良く奉仕活動をしていくように話をする。
4. ロータリアン一人ひとりの心構えを説明する。(入会してよかったと思える日頃の例会と奉仕活動から学べるかどうか、親睦から何を学ぶのかを)
5. IMは各クラブの会長と協力して開催する。
6. 各クラブの悩みや困っていることを聞いてみる、地区として解決できるように佐藤Gに伝える。
7. 各クラブに佐藤Gが円滑な訪問が出来るようにクラブとの連携を密にする。
8. クラブの強化対策として、会長の時間の使い方を説明する。

例会のあり方・会長の時間のあり方灘高校の話

銀の匙の教本で成果を出している、同じ先生が教えている

Rの教本がクラブにあるか。

和して同ぜずのR精神とは

言うことを聞くが任せない間違いがないかを見ている

間違っていたら意見を言う。

同じて和せずになっていないか・・・

温泉の話…ぬるい香りのない温泉と同じクラブは

あったまったらすぐ帰る。

会長が時事放談をしていないか

適当に熱くて香りのある温泉と同じクラブは

香りを楽しみ、あったまりながら他の人と会話をする

世間話に花が咲く親睦や奉仕が生まれる。

会長がRの伝道者になっているから聞いてくれる。

2024-25年度ガバナー補佐 活動計画書



中区(秋田分区)
ガバナー補佐 秋田南RC

田村 典美

【活動基本方針】

1. ガバナーの方針を理解し、地区の重要事項を各クラブにお伝えし、各クラブの運営がスムーズにいくようにサポートします。
2. ガバナーが策定した重要方針
 - ① 会員増強が重要施策。
 - ② ポリオ根絶協力要請。2024年10月26日パレード参加上記について各クラブにご協力をお願いする。

【活動計画】

1. ガバナー公式訪問の前に事前訪問して会長、幹事等と目標、現状や問題点を把握し、有意義な公式訪問が出来るようにガバナーに報告する。
2. 中区(秋田市)会長、幹事会に参加して意見交換をする。
3. 地区の活動や地区委員会へ各クラブの関与を奨励する。



中区(本荘・由利分区)
ガバナー補佐 象潟RC

熊谷 中

ガバナー補佐は、ガバナーと分区各クラブまた分区内各クラブ間の意思疎通をはかり、円滑な運営を促す潤滑剤として、活動しなければならないと理解し、以下の事を活動方針と致します。

1. RIのテーマ、地区方針を理解し各クラブが地区の活動方針に則って活動する事ができるように啓蒙や助言を行う
2. 各クラブの問題や地区に対する要望などを拾い上げガバナーと協力して問題の解決や改善を図る。
3. 中区IMの実施また地区大会等地区行事への参加を促す。
4. 来る2025年度桑山年度の準備期間として分区各クラブの協力体制を整えガバナー輩出分区としての意志と矜持を持てるよう共通の意識の醸成を図る。

2024-25年度ガバナー補佐 活動計画書



南区(大曲・仙北分区)
ガバナー補佐 大曲南RC

柴田 了

まずは、大曲仙北地区6ロータリー各クラブの活動、業績などを学ぶ。各クラブの次年度会長、幹事とお互いに情報交換をしやすい関係を築く。

ガバナー、ガバナー補佐のクラブ訪問の予定を立て、ガバナー補佐の事前訪問では、各クラブの、要望、疑問などを聞き取り、ガバナー訪問まで回答出来るよう調整する。

以上、6月までは、各クラブのとの情報の交換、共有を活発にし、まずは、ガバナー訪問に支障がないようにしてまいりたいと思います。



南区(横手・湯沢分区)
ガバナー補佐 横手南RC

加賀 清太郎

突然のガバナー補佐交代となりましたので、今回は活動計画書を申し上げる事はできません。PETSまでには準備をして、担当クラブのお役に立てるようにしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

成長戦略計画委員会 活動計画書

地区成長戦略計画委員会委員長 大曲中央RC 富 樫 龍 紀

RI理事会より2024年1月12～13日に米国フロリダ州オーランドで開催された会合において会員数が新たに1,100名から1,199名となったことを指摘し、21地区日本地区では2540地区に下記内容が決定されたと通達が届きました。

- ①「地区成長戦略計画」を、2024年9月30日までに、2023-2024年度淡路ガバナーが提出すること。
- ②「地区復興・活動報告書」2025年3月31日までに2024-2025年度佐藤ガバナーより地区編成委員会に内容を作成し提出すること。

中長期的な会員増強や公共イメージ向上の計画を含む、すでにご作成の行動計画等でも構わない。

地区として地区編成委員会に伝えるべきと考えの戦略についてご記載されたものを提出する。

- * ①②を踏まえ、「地域成長戦略計画」と「地域復興・活動報告書」を作成し、並行して実施していく。
- * 委員会メンバーは、ガバナー補佐・地区委員長の皆様となっております。特に会員拡大委員会、DEI委員会お忙しい中、地区の未来に向けた協議をしっかりとまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

DEI委員会 活動計画書

DEI委員会委員長 大曲RC 塩 谷 國太郎

①今年度活動計画書

今年度はDEI委員会として、次の3項目について実施する予定です。

1. DEIニュースを全クラブ会員向けに発行し、DEIへの理解を深めて貰います。
2. チェックリストを全クラブに配布し、DEIを意識してもらいます。
3. DEIを意識した例会の開催(他クラブや他団体との交流例会、行事)を年1回以上開催してもらう。

会員拡大増強委員会 活動計画

会員拡大増強委員会委員長 大曲RC 今 野 宏

第2540地区の単独運営を維持するためには、地区として認められている最低限の会員数1,100人以上の会員の維持が必要であり、緊急かつ大きな課題となっております。

急激な少子高齢化の進む秋田県においては、会員拡大増強を図っていくという事は容易なことではありません。しかし、思えばロータリーの誕生は経済恐慌真っただ中であって人心の荒廃を憂いたたポール・ハリスが好意と友情と奉仕によって世の中の立て直しを図ったことに始まります。原点に立ち回りロータリーの掲げる目的意識を明確にし、賛同を得ることが大切であると思います。

組織の発展は会員が増え、賑わいの中からしか生まれませんので、持続可能な目標を明示し粘り強く勧誘を進めてまいります。また、成長戦略計画の方針を踏まえながら、DEI行動計画委員会と協力し会員拡大・維持、新クラブ設立などを推進してまいります。併せて将来を見据え、他地区との合併問題についての意見調査なども進めてまいりたいと思います。

公共イメージ委員会 活動計画

公共イメージ委員会委員長 秋田RC 岡本 啓一

2024-2025年度地区公共イメージ委員会の活動計画といたしまして、ガバナーがその開催を期待されているイベントを広報していくことを主として活動する所存でございます。そのイベントとは10月24日世界ポリオデーの前後に地区が開催するもので、ENDPOLIONOWを中核に据え、会員だけでなく、そのご家族、ご関係者をもご参加いただけるものと伺っております。その活動を外部に発信することでロータリーのイメージをより向上させたいと考えております。こちらのイベントを含め、その他計画を今後具体化していく所存でございますが、その基礎的な考えといたしまして以下のように記します。

【目標】

1. ロータリーの良いイメージを向上すること
2. ロータリーの認知度を向上すること

【施策】

1. 地区の活動紹介
2. 各クラブ活動紹介
3. ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの活動紹介
4. 地区他委員会と緊密に連携し外部が興味を持つ内容を広報していく
5. クラブと会員の間では共通に認識されているが、外部では一般的でない情報を広報していく
6. 会員一人一人がロータリーの広告塔だという意識づくり
7. 幼年期からのロータリーの関りを推進
8. 新聞、出版、放送などの既存媒体に加え、SNS、WEBの利用も検討したい

RLI委員会 活動計画書

RLI委員会委員長 秋田RC 桑原 透

2022-2023年度と2023-2024年度の2年間でパートⅠ～Ⅲを各年1回、都合2回開催して受講者総数が徐々に増えてきました。ファシリテーターも各パート開催前に養成研修と模擬研修を行なうことでスムーズな進行が出来るよう努めています。

2023-2024年度後半には各クラブへ訪問し、クラブの会員研修事業にRLIを採用してもらうことと、全会員向けの研修事業として受講をお願いする旨の説明を行なっています。

各クラブの多くの会員がRLIを受講しロータリーの知見を深めることをきっかけとして、更なる「楽しくクラブづくり」の実現へと繋がれることを期待します。

RLI日本支部加入後4年目を迎える今年度も、多くのクラブの賛同を得ながらパートⅠ～Ⅲを開催して更なる受講者増加を図れるよう行動します。

前年度同様に、9月・11月・2月に開催予定です。(受講者:各回最大50名を予定)

ローターアクト委員会 活動計画

ローターアクト委員会委員長 秋田RC 佐野 元彦

1. 「秋田ローターアクトクラブ」の活動支援

- ・会員増強への協力
- ・ロータリー研修の場の提供
- ・ロータリアンとの交流機会の提供
- ・令和高校インターアクトクラブとの交流機会の提供
- ・他地区ローターアクトとの交流機会の提供
- ・RYLA開催の検討

2. 新クラブ設立の促進

- ・スポンサークラブの発掘
- ・クラブ設立への支援活動

ロータリーの友委員会 活動計画

ロータリーの友委員会委員長 横手RC 岩佐 信宏

1. 「ロータリーの友」購読はロータリアンの3大義務のひとつです。ロータリアンがロータリーライフを深めるための雑誌であり、クラブとRIが直結しているという認識をもつためにも必要な媒体であることを地区内会員にご理解とご認識いただけるよう活動します。
2. 各クラブの広報委員長等に、「ロータリーの友」を第一例会前にご一読いただき、月に一度例会内でご紹介いただけるよう推奨します。同時に毎月の月間活動テーマに沿って、関係するクラブ委員長が例会時にスピーチいただけるように推奨します。
3. 「ロータリーの友」に掲載されている全国の活動事例を参考にクラブに取り入れ、活動を豊かなものにして会員拡大を推進していただけるようお願いします。
4. 年1回ロータリーの友委員会のOBを含め「友友会」を開催し、活動がより豊かになるように意見交換をします。
5. 地区広報委員長とともに「ロータリー公共イメージ戦略計画」が当地区に浸透するように活動します。
6. ご要望があればロータリーの友委員会でクラブを訪問し、「ロータリーの友」に対する理解を共有したいと思います。

青少年交換プログラム委員会 活動計画

青少年奉仕交換プログラム委員会委員長 秋田東RC 金子 雄司

現在、1名の長期派遣生がミネソタに留学中で、7月帰国予定となっております。

帰国後はROTEXとして、次年度派遣生との交流と指導をはかります。ROTEXの各クラブへの例会参加も促していきたいと考えています。

また、昨年の9月に第5950地区からトーマス・ピーターソン君が来日し、大曲RCをホストクラブとして交換を実施中です。

引き続き危機管理委員会、ホストクラブと連携し安全なプログラムの実施を心がけます。また、2025年の派遣生について速やかに募集を行い、1名を決定し、オリエンテーション、スプリングキャンプ等への参加を通じて親善大使としての心構えと語学の強化を行っていきます。

ロータリアンのご子息が参加できるプログラムですので、高校生のお子様(特に1年生)をお持ちのロータリアンの皆様、是非参加のご検討をお願いします。短期派遣について、今年度は実施しません。

青少年交換プログラムは派遣生の募集から帰国まで丸2年を要し、その後もROTEX、ローターアクトとして人材を育てていく息の長いプログラムです。ロータリアンの皆様のご協力なくしては継続して実施することが難しい事業ですので、どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会 活動計画

国際奉仕委員会委員長 秋田東RC 渡部 羊三

当地区のネパール支援事業は1976年から始まり、時代を経て変遷を重ねてきました。

本年度は昨年度からの引継ぎとして地区財団活動資金とグローバル補助金を活用し、ネパールのカウリに衛生的なトイレを設置する事業を継続しており完了報告ができるよう現地との連絡調整を行います。完了報告後に今後の事業立案に向け活動してまいります。

その他地区内のクラブからグローバル補助金の申請計画がある場合は、地区ロータリー財団委員会と連携して進めます。

職業奉仕委員会 活動計画書

職業奉仕委員会委員長 大曲RC 佐藤 正行

我々ロータリアンはロータリーの奉仕活動に参加する中で、奉仕の心、奉仕の理念を学ぶことが大事です。そして奉仕の理念に満ちた心の醸成、自らの職業を通じての奉仕活動が重要となってきます。

2024-2025佐藤ガバナーの地区テーマは「小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう」となっており、委員会方針として職業奉仕委員会は「職業スキルを活かした奉仕活動を計画実施するよう奨励し、職業奉仕活動を促進する。」とあります。これらの方針を踏まえ、以下の活動をしてまいります。

①内向きの「職業奉仕賞」の設定と推奨

ロータリアン一人一人が日々のロータリー活動に参加する中で「奉仕の理念」を学び、それを自分の職場に取り入れ、自分の職業で地域社会に貢献したロータリアンの推薦を募ります。2人程度推奨。

②外向きの「職業奉仕賞」の設定と推奨

クラブのエリア内に所在する事業所で自己の職業を通じて地域社会に貢献していると認められる人の推薦を募ります。2人程度推奨。

RI国際大会推進委員会活動計画書

国際大会推進委員会委員長 大曲RC 高橋 右

2025年は6月21日～25日にカナダのカルガリーで国際大会が開催されます。

過去に国際大会へ参加した方をリストアップし、国際大会への参加をお声掛けしより多くの皆様に参加していただけるよう取りまとめます。

現地では、ガバナーナイトを企画し、2540地区参加者の親睦が深まるよう準備します。

社会奉仕委員会 活動計画

社会奉仕委員会委員長 秋田港RC 澤田 石晶

【委員会方針】

地域社会に対して、奉仕活動を企画するよう推奨する。

各クラブでどのような社会奉仕活動をしているかアンケートを提出して頂く。

この資料に基づき委員会を開催し、地区として各クラブへの色々な意味での支援を行う。

(※奉仕活動への参加協力など)

国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会と協力してロータリーデー、ポリオ根絶キャンペーンを実施する。

青少年奉仕委員会 活動計画書

青少年奉仕委員会委員長 大曲RC 加賀 美奈

RIの青少年奉仕プログラムにおいて、当地区はIAC、青少年交換はこれまで活動しております。

そこで、ロータリーに関わった青少年をリストアップし、IAC・RACのお力をお借りして、RYLA（ロータリー指導者育成プログラム）を実施できるように企画していきたいと思います。

その他に、新世代交換や友情交換など、18才以上の方が海外留学を体験できるようなプログラムも紹介し実施していきたいと思います。

また、クラブで留学生のサポートをする際には、R財団委員会のご協力を得て、地区補助金を計画的に活用し活動できるようにしていきたいと考えます。

そして世界で活躍する若者を応援し、将来のローターアクターやロータリアンに繋がるような活動をしてまいります。

ロータリー財団委員会 活動計画書

ロータリー財団委員会委員長 能代RC 柳谷 悦磨

私たち（会員）のロータリー財団への参加の方法は2つあります。財団への各種寄付と補助金を活用した事業です。

事業を実施するための補助金は過去の寄付の実績に応じた額となりますので、地区では毎年寄付と事業を並行して皆様をお願いしております。

残念ながら地区事務所では年度末に恒例のようにクラブの心配をしなければならない現状があります。まだまだ財団に対する理解が進んでいないと言わざるを得ません。

ポリオプラスに関しては、年度途中ではありましたが、ポリオプラスソサエティ（PPS…年間100ドル以上）の登録推進をお願いいたしました。また、次年度はポールハリスソサエティ（PHS…年間1,000ドル以上）の登録をお願いする予定です。継続的にご寄付いただける会員が増える事を願っております。

地区では10月26日ポリオデー開催の予定です。内外にロータリー、そしてロータリー財団の活動をアピールできる良い機会としたいものです。

インターアクト委員会 活動計画

インターアクト委員会委員長 横手RC 黒丸 雄平

各インターアクトクラブが各地域において学校や地域社会のための活動と国際理解を目指す活動を行えるよう提唱クラブと共にその活動を支援する。

インターアクト年次大会を開催し、地区内のインターアクター同士が活動のアイディアを交換しあい、インターアクトが地域で果たしている役割を理解する場とする。さらなる社会奉仕への意欲をかき立てリーダーシップの力を養う。

インターアクターがRIのロータリー章典に規定された青少年保護の指針に沿って安全に活動できるよう、インターアクトクラブ役員、インターアクトクラブ委員長、顧問ロータリアン、顧問教諭と共に指導者講習会を開催する。

国際理解を深めるための取組みについて、各クラブ・提唱クラブと話し合い現状の理解と今後の方針を確認する。

本荘地区でのインターアクトクラブ新設に向けた具体的な取り組みをおこなう。

- ・2024年7月提唱クラブ訪問
- ・2024年9月年次大会・指導者講習会開催
- ・2024年11月地区大会参加（各表彰の推薦について）
- ・2025年1月委員会（各表彰の確定、表彰準備）
- ・2025年3月本年度・次年度合同委員会Ⅰ（学校予定関連確認・引継ぎ）
- ・2025年5月地区内インターアクトクラブ代表者会議・指導者講習会本年度・次年度合同委員会Ⅱ（最終引継ぎ）
- ・未定 第12回インターアクト全国大会参加（場所未定）

IT推進委員会 活動計画書

IT推進委員会委員長 大曲RC 佐藤 力

「新しいロータリーとの出会い」を目指して本委員会は本年度新たに新設されました。ご承知のように、コロナ禍に見舞われた昨年来の社会では、こうしたIT系ツールを用いた人の集まりが否応なしに必要とされ、ITを利用したコミュニケーションツールは一気に脚光を浴びることになりました。本委員会は、ICT環境が「集まりたくても集まらない」、「もっとロータリーの情報が知りたい」という状況から、「いつでも、どこからでも気軽に集まれ、情報をすることが出来る」という積極的な新しいロータリー環境と新しい友情の手立てへと発展させるべく活動する委員会です。

私たちロータリアンにとって、人と人との繋がりが合い、友好を深めるための手段として、ITを利用したツールを用いることが、ごく当たり前となればこれまでとは違う新しい友好のあり方も見えてくるのではないのでしょうか。そうした環境を実現するための委員会として地区内クラブや他の委員会と一緒に活動して行きます。以下に委員会方針と共に、目指すべき目標とする具体的な活動内容について記載します。

◎地区、そして各クラブにある情報ツールに対して積極的な啓蒙支援を行います。

ホームページやSNSを利用したロータリー活動のあり方をより強化すべく、公共イメージ委員会や各クラブ広報担当者と連携しつつ、積極的な利用促進を目的とした情報提供を行うなど、啓蒙支援を行います。

◎MyRotaryへの地区平均登録率を上げるためにクラブ支援を実施します。

登録はロータリーを知るための入り口です。低迷する登録率の陰には、会員個々のMyRotaryに対する関心の低さと共に、各クラブに共通した、不完全な情報管理の実態があります。現在のIT環境整備にはデータの整理が必須です。各分区のガバナー補佐や、各クラブの会長・幹事、事務局との連携を行いつつ、各クラブの根本的なデータ整理、IT環境整理に対する助言協力と助言支援を行います。

ロータリー米山記念奨学委員会 活動計画

ロータリー米山記念奨学委員会委員長 秋田南RC 呉 宮 廣 哉

【委員会の目的】

ロータリー米山記念奨学事業を通し、国際交流と相互理解を深める。

【委員会の目標】

- ①普通寄付ゼロクラブをなくすとともに、特別寄付の増進を図る。
普通寄付、特別寄付合わせて一人当たり14,000円以上の寄付を推進する。
- ②米山記念奨学事業に対するロータリアンの理解者を増やす。
- ③奨学生との交流を深め、学友の動向を把握する。

【活動内容】

1. 奨学生の“ロータリー”に対する理解を深める

- ①秋田をより深く知っていただき、学生にとって「第2のふるさと」になるよう努める。
- ②奨学生とロータリアンとの交流をよりいっそう深める。
- ③世話クラブ以外における奨学生の卓話を促進し、学生が様々なクラブに接することで多くのロータリアンと交流を持つ機会を拡げる。
- ④参加義務のある地区行事だけでなく、その他の行事への積極的な参加を促す。

2. 奨学生との交流を深め学友の動向を把握する

- ①奨学期間が終了しても交流が続くよう、世話クラブ・カウンセラーの役割をより一層意識していただき、奨学生に対し精神面でもサポートしていただく。
- ②地区内在住学友の所在等を把握し、交流を図るとともに、地区外学友に現地学友会への参加を推奨する。
- ③奨学期間終了後も、学友会への参加を促進する。
- ④ホームカミング制度等を活用し、地区外に居住している学友と交流を図る。

【スケジュール】

- 2024年12月7日(土) 米山記念奨学生面接
- 2025年3月1日(土) 米山記念奨学生終了式歓送会
- 2025年4月26日(土) 奨学生・カウンセラーオリエンテーション

地区大会委員会 活動計画

地区大会委員会委員長 田沢湖RC 西村 隆 作

2024年11月16日(土)17日(日)、大仙市で開催いたします。

地区大会はすべての会員が参加対象となっておりますので、コロナ禍後に開かれる地区大会として、皆様に役立つ情報と、大いに親睦を深めることができるよう企画してまいります。

2024-2025年度 国際ロータリー第2540地区 組織

＜RI会長＞ ステファニー A.アーチック

ガバナーノミニー	ガバナーエレクト	副ガバナー	ガバナー
	桑山 明久(本 荘)	富樫 龍紀(大曲中央)	佐藤 和志(田沢湖)

規定審議委員会

代表議員 平澤 孝夫
補欠議員 嶋田 康子

諮問委員会

京野 学(湯沢南)
松浦 新(秋田中央)
伊藤壽々雄(湯 沢)
村上 勘一(象 潟)
地葉 新司(潟 上)
塩谷國太郎(大 曲)
玉木 修(秋田西)
宮下 正弘(秋 田)
平澤 孝夫(秋田東)
柳谷 悦磨(能 代)
富樫 龍紀(大曲中央)
嶋田 康子(秋田北)
工藤 智教(大館南)
宮原 保夫(湯沢南)
高崎 恒夫(秋田港)
淡路 徹(潟 上)

（助）ロータリー米山記念奨学会 第2540地区

理 事(任期 2022年9月～2024年8月) 塩谷國太郎(大 曲)
次期理事(任期 2024年9月～2026年8月) 玉木 修(秋田西)
評 議員(任期 2023年9月～2027年8月) 柳谷 悦磨(能 代)

社会法人 RIJYEM 第2540地区

社 員(任期 2024年8月～2026年8月) 宮下 正弘(秋 田)

ガバナー指名委員会(PG)

◎淡路 徹(潟 上)
高崎 恒夫(秋田港)
宮原 保夫(湯沢南)
工藤 智教(大館南)
嶋田 康子(秋田北)

ロータリーの友委員会

◎岩佐 信宏(横 手)
藤原 和信(矢 島)
松尾 秀正(大館北)

研修委員会

◎淡路 徹(潟 上)
高崎 恒夫(秋田港)
工藤 智教(大館南)
嶋田 康子(秋田北)
富樫 龍紀(大曲中央)

RLI委員会

◎桑原 透(秋 田)
○阿部 大助(秋田中央)
山本 隆弘(秋田港)
細谷 太郎(秋田中央)
宮原 育郎(湯沢南)
和賀 豪(横手東)
児玉 高久(山 本)
加賀 美奈(大 曲)
黒丸 雄平(横 手)
辻 康平(秋田北)
安達 豪樹(秋田南)
小田嶋伸一(花 輪)

会員拡大増強委員会

◎今野 宏(大 曲)
○高橋 佐知(角 館)
佐々木孝憲(鷹 巣)
佐藤志津子(大 館)
塚本 祐文(本 荘)
佐々木正義(横手南)
桑原 透(秋 田)
菅原 進(潟 上)

DEI行動計画・推進委員会

◎塩谷國太郎(大 曲)
清水 証(能 代)
小野 人平(西馬音内)
辻 卓也(大曲南)

公共イメージ委員会

◎岡本 啓一(秋 田)
村上 亜紀(秋田東)
鈴木 隆宏(能 代)
伊佐 素彦(大館北)
佐々木達治(本 荘)
後藤 薫(角 館)

IT推進委員会

◎佐藤 力(大 曲)
○村越 正道(能 代)
土館 守(大 館)
小松 利也(大 曲)

職業奉仕委員会

◎佐藤 正行(大 曲)
諸岡 喜一(湯沢南)
黒澤 良允(大 館)
吉川 壮(大曲中央)

社会奉仕委員会

◎澤田石 晶(秋田港)
笹渕 信子(男 鹿)
近江 佳弘(湯 沢)
坂本 公二(大館中央)
塩田 聡(横手南)
清水 俊明(秋田西)

国際奉仕委員会

◎渡部 羊三(秋田東)
新山 良洋(大 曲)
根田 達也(秋田南)
村上 亜紀(秋田東)
三浦 崇暢(秋田北)
高橋 セン(潟 上)
横井 弘明(大館南)

◎委員長 ○副委員長
(敬称略順不同)

地区内ロータリークラブ		地区内	衛星クラブ ローターアクトクラブ	ローターアクト委員会 ◎委員長・佐野 元彦 秋田RAC 会員全員	
ガバナー補佐				地区成長戦略計画委員会	
西村 政幸(大館中央) 境 一孝(二ツ井) 田村 典美(秋田南) 熊谷 中(象 潟) 柴田 了(大曲南) 加賀清太郎(横手南)				◎富樫 龍紀(大曲中央) 桑山 明久(本 荘) 高崎 恒夫(秋田港) 2024-2025年度 ガバナー補佐 2024-2025年度 地区委員長	
地区幹事					
地区代表幹事 三浦 大英(角 館) 地区幹事 加賀 美奈(大 曲) 熊沢 正志(田沢湖) 地区副幹事 佐藤 健(角 館) 橘 百合子(大曲南) 高橋 絢子(大曲中央) 寺澤 喬(田沢湖) 田口 憲寿(大曲仙北) 小林 和晴(本 荘) 田中 慶昭(大 曲)					
財務委員会					
◎宮下 進司(角 館) ○佐藤 良一(本 荘) 一関 譲(潟 上)					
会計委員会					
◎長谷川善樹(田沢湖) ○斉藤 雅豊(本 荘) ○斎藤 智克(大 曲)					
会計監査委員会					
北区・九嶋 信正(大 館) 中区・小林 科樹(秋田中央) 南区・飼田 一之(横 手)					
危機管理委員会					
◎地葉 新司(潟 上) 呉宮 廣哉(秋田南) ○緑川 正樹(大 館) 金子 雄司(秋田東) ○木元 慎一(秋田中央) 宮下 正弘(秋 田) 加賀 美奈(大 曲) 緑川 正樹(大 館) RI報告担当者					
RI国際大会推進委員会					
◎高橋 右(大 曲) 高橋康一郎(田沢湖) 丸山 佳孝(大館中央) 三浦 利規(大 曲)					
地区大会委員会					
◎西村 隆作(田沢湖) 久保田健一郎(大 曲) 渋谷 智之(大曲中央) 辻 卓也(大曲南) 泉谷 昭一(大曲仙北) 伊藤 有希(本 荘) 田口 宗弘(角 館)				ロータリー財団委員会 ◎柳谷 悦磨(能 代) ロータリーカード推進委員 後藤 敬太(本 荘) 補助金委員長 鈴木 明彦(潟 上) 補助金委員 渋谷 絵里(秋田西) 資金管理委員長 泉谷 昭一(大曲仙北) 資金推進委員長 長谷川善樹(田沢湖) 資金推進委員 堀川 俊明(湯 沢) ロータリー平和 フェローシップ委員長 中村 博美(大館南) ポリオプラス委員長 渡辺 栄太(横 手) ボールハリス・ソサエティー コーディネーター 柳谷 悦磨(能 代)	
青少年奉仕部門		ロータリー-米山記念奨学委員会			
青少年奉仕委員会	青少年交換プログラム委員会	◎呉宮 廣哉(秋田南) ○清水 俊明(秋田西) 土崎 俊成(秋田港) 阿部 大助(秋田中央) 佐々木隆一(横 手) 境田 未希(秋田東) 三浦 将人(潟 上)			
◎加賀 美奈(大 曲) 高橋 絢子(大曲中央) 高橋 大輔(湯沢南) 松本 大(秋 田) 飯牟禮淑美(ARAC)	◎金子 雄司(秋田東) ○佐藤 裕之(秋 田) ○加賀谷 毅(秋田港) 柴田 直人(湯 沢) 藪田 学(大館北) 黒丸 雄平(横 手)				
インターアクト委員会					
◎黒丸 雄平(横 手) 中川 利久(秋 田) 乳井 仁(大館南) 石川 穰(大 曲) 三浦 大英(角 館)					

新会員紹介



入会クラブ 角館ロータリークラブ
氏 名 太田 千草（おおた ちぐさ）
職業分類 接客飲食業
勤務先 FLORISThana萌音
役 職 代表
入会年月日 2024年6月28日
紹介者 高橋 佐知



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 後藤 宏樹（ごとう ひろき）
職業分類 モバイル通信業
勤務先 株式会社ドコモCS東北秋田支店
役 職 支店長
入会年月日 2024年7月1日
紹介者 北嶋 洋一・佐藤 守



入会クラブ 大曲ロータリークラブ
氏 名 小沼 司（おぬま つかさ）
職業分類 鉄道輸送
勤務先 J R 東日本大曲駅
役 職 駅長
入会年月日 2024年7月2日
紹介者 田口 由利香



入会クラブ 湯沢ロータリークラブ
氏 名 佐藤 正明（さとう まさあき）
職業分類 乾麺製造販売・飲食業
勤務先 株式会社YOSUKEホールディングス
役 職 代表取締役兼CEO
入会年月日 2024年7月2日
紹介者 阿部 和夫

新会員紹介



入会クラブ 湯沢南ロータリークラブ
氏 名 鈴木 美克 (すずき よしかつ)
職業分類 製造業 (酒類製造)
勤務先 秋田銘醸株式会社
役 職 取締役 総務部長
入会年月日 2024年7月2日
紹介者 京野 学



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 荒川 一 (あらかわ はじめ)
職業分類 板金業
勤務先 株式会社イッセイ工業
役 職 顧問
入会年月日 2024年7月4日
紹介者 刀根 一・進藤 大



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 石井 伸 (いしい しん)
職業分類 建設機械メンテナンス
勤務先 株式会社福井
役 職 代表取締役
入会年月日 2024年7月4日
紹介者 刀根 一・進藤 大



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 高谷 健一 (たかや けんいち)
職業分類 木製品製造業
勤務先 高谷林業株式会社
役 職 代表取締役
入会年月日 2024年7月4日
紹介者 石黒 学・刀根 一

新会員紹介



入会クラブ 秋田中央ロータリークラブ
氏 名 石井 明 (いしい あきら)
職業分類 保険代理業
勤務先 株式会社秋田ふれあい
役 職 代表取締役
入会年月日 2024年7月5日
紹介者 水谷 匡男



入会クラブ 秋田中央ロータリークラブ
氏 名 高橋 正彦 (たかはし まさひこ)
職業分類 電気工事
勤務先 株式会社光システム
役 職 代表取締役
入会年月日 2024年7月5日
紹介者 中村 瑞樹



入会クラブ 秋田中央ロータリークラブ
氏 名 鈴木 万寿夫 (すずき ますお)
職業分類 ホテル
勤務先 秋田ステーションビル株式会社
役 職 代表取締役社長
入会年月日 2024年7月5日
紹介者 平澤 敦夫



入会クラブ 湯沢南ロータリークラブ
氏 名 佐渡 雅樹 (さど まさき)
職業分類 電気事業
勤務先 東北電力株式会社秋田支店
役 職 部長兼秋田南営業所長
入会年月日 2024年7月9日
紹介者 諸岡 喜一

※能代白神RCで1名おりますが、掲載が間に合わず8月号に掲載いたします。

会員数の増減及び出席率

区分		クラブ名	会 員 数					会員数の増減		年度平均 出席率
			2024年 6月末	2024年 7月1日(A)	2024年 7月末日(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)-(A)	純増割合	
北 区	大館・鹿角分区	大 館	37	37	37			0		
		花 輪	20	20	20			0		
		鷹 巣	8	7	7			0		
		大 館 北	21	17	17			0		
		十和田秋田	25	26	25	1	0	-1		
		大 館 南	31	31	31			0		
		大 館 中 央	13	14	14			0		
	能代・男鹿分区	能 代	53	52	52	10		0		
		男 鹿	10	10	10			0		
		二 ツ 井	5	5	5	0		0		
		五 城 目	12	12	12			0		
		潟 上	33	33	33			0		
		男 鹿 北	11	11	11			0		
		山 本	16	12	12	0	1	0		
		能代白神	13	13	14			1		
中 区	秋田分区	秋 田	106	106	106	5	2	0		
		秋 田 東	80	83	83	3	0	0		
		秋 田 港	47	47	47	6	1	0		
		秋 田 北	56	57	57	4		0		
		秋 田 南	35	35	35	3		0		
		秋 田 中 央	40	40	40	5		0		
		秋 田 西	19	19	19			0		
	本荘・由利分区	本 荘	31	33	33	0	0	0		
		矢 島	7	7	7			0		
		象 潟	7	8	8			0		
		本 荘 東	19	19	19			0		
		本 荘 南	5	5	5	1	0	0		
南 区	大曲・仙北分区	大 曲	42	43	42	3		-1		
		角 館	13	13	13			0		
		大 曲 南	14	14	14	2	0	0		
		大曲中央	9	8	8	3	0	0		
		田 沢 湖	17	17	17			0		
		大曲仙北	11	11	11			0		
	横手・湯沢分区	湯 沢	64	66	65	1	2	-1		
		横 手	53	53	53			0		
		横 手 南	67	67	67			0		
		西馬音内	14	15	15			0		
		湯 沢 南	22	22	22			0		
		稲 川	13	13	13			0		
		横 手 東	11	11	11			0		
合 計			1110	1112	1,110			-2		

①※印のクラブは未提出のクラブでマイロータリー参照

②40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計

クラブ活性化セミナーに参加して

佐藤ガバナー年度スタートのセミナーとして、7月6日(土)「クラブ活性化セミナー」が大曲プラザたつみで開催されました。

プログラムは、佐藤ガバナーの挨拶と地区方針の説明、富樫成長戦略委員長、今野会員拡大増強委員長、塩谷DEI推進委員長、工藤氏の基調講演、休憩後は柳谷ロータリー財団委員長、佐藤IT推進委員長、加賀青少年奉仕委員長、桑原RLI委員長より今年度の活動目標やクラブ運営に参考になるお話を聞きました。

基調講演・講師の、工藤智教パストガバナーの「ロータリーを語ろう」は、ロータリアンの生き方の生き方、紳士としての振る舞いについて考えさせられました。

セミナーは今年度の新設委員会委員長の発表で緊張感がありましたが、懇親会は高崎パストガバナーの愉快なご挨拶と桑山ガバナーエレクトの力強い中締めで終わり、終始和やかな楽しい時間でした。

田沢湖RC 熊 沢 正 志

2023-24年度ロータリー青少年交換プログラム

留 学 報 告

進藤 雅姫

- 派遣生：秋田南高校 ■推薦クラブ：大曲RC
- 派遣先：RID5950/5960 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
- ホストクラブ：ハドソンデイレイクRC

私はこの約10か月間の留学で多くの“新しいもの”に出会うことができた。母国語ではない言語と異なる文化での生活は苦勞することも多かったが、そのたびに試行錯誤したことが自分自身の成長につながったと感じている。

アメリカの学校生活は日本のものとは大きく異なっていた。驚いたのは、多くの生徒が日本よりはるかに能動的だったことだ。授業は活発な話し合いや生徒が考え発言することに重点がおかれているように感じた。アメリカでは受講科目はカウンセラーと相談しながら、生徒自身が選択している。さらに科目は実に多岐にわたる。例えば、社会科目だけでもPsychology、Sociology、Economics、Criminal Law、その他にもおおくの選択肢がある。その中から生徒ひとりひとりの志望に沿って時間割が組まれることが、生徒の意欲を高めることにつながっているのではないかなと思う。また授業ごとに異なる生徒たちとの交流ができることも新鮮だった。さらに、学校のダンスパーティや卒業式などのイベント、スポーツの試合観戦など、アメリカの学校ならではの経験ができたことは良い思い出になった。

英語力を伸ばすために意識したのは、学校の友達やホストファミリーをはじめ、学校の先生、ロータリークラブの例会、地域のコミュニティーセンター、他国からの留学生など様々な人と色々な場面で積極的に交流することだ。それにより日々生活していく中で英語の上達を実感することができた。最初の3か月ほどは授業につい

ていくのが大変で先生に助けってもらうことも多かったが、2学期以降は授業を楽しむことができるようになった。英語力が高くなるほど留学生活も充実していった。

国際ロータリーの青少年奉仕交換プログラムは他国からの留学生と交流する機会がたくさんあり、世界中に友人を作ることができた。EastCoasttripでは特に、私がホームステイしていたウィスコンシンやミネソタだけではなく色々な州に留学していた留学生との出会いがたくさんあった。同じアメリカ国内に留学していても住んでいるところによって生活やホストファミリーの様子は本当に様々だった。他国からの留学生とそれぞれの国の文化や言葉の話をすることは、その度に私に新しいものとの出会いをくれると共に私の世界を彩っていた。このような経験はロータリーの留学でしかできないことだったと思う。

自分の知っている世界から飛び出すことはとても勇気のいる挑戦だったが、それをやり遂げた今、自分にとっての世界はとても広がった。秋田、大曲地区のロータリーの方々や家族、そして留学先のロータリークラブにとっても支えてもらった10ヵ月だった。私の留学のためにこんなにも多くの人たちが見えないところでも支えてくれたことに本当に感謝している。これからも支えてくれたすべての人に感謝を忘れず成長していきたい。

